

季節毎の釣り方別・基本セッティング(管理釣り場向け)

	季節	竿	漁糸	ウキ	ハリス	ハリ
両タナの浅タナ釣り	春 (4~5月)	8~9尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	0.4号④ 30~35cm, ⑤ 35~45cm	④⑤ 4~5号
	夏 (6~9月)	8~9尺	1.0	ボディ5~7cm パイブトップ	0.5号④ 20~30cm, ⑤ 30~40cm	④⑤ 5~6号
	秋 (10~11月)	8~9尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	0.4号④ 30~35cm, ⑤ 35~45cm	④⑤ 4~5号
	冬 (12~3月)	/	/	/	/	/
「カサ」セットの浅タナ釣り	春 (4~5月)	8~9尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	④ 0.5号 8~10cm, ⑤ 0.3号 30~40cm	④ 5~6号, ⑤ 2~3号
	夏 (6~9月)	8~9尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	④ 0.5号 8~10cm, ⑤ 0.4号 25~30cm	④ 6~7号, ⑤ 3~4号
	秋 (10~11月)	8~9尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	④ 0.5号 8~10cm, ⑤ 0.3号 30~40cm	④ 5~6号, ⑤ 3号
	冬 (12~3月)	8~10尺	0.8	ボディ5~7cm パイブトップ	④ 0.5号 8~10cm, ⑤ 0.3号 35~50cm	④ 5~6号, ⑤ 2~3号
両タナのチョーチン釣り	春 (4~5月)	8~10尺	1.0	ボディ10~15cm パイブトップ	0.5号④ 40~50cm, ⑤ 50~70cm	④⑤ 6~7号
	夏 (6~9月)	8~10尺	1.2	ボディ10~15cm パイブトップ	0.6号④ 30~50cm, ⑤ 40~70cm	④⑤ 7~8号
	秋 (10~11月)	8~10尺	1.0	ボディ10~15cm パイブトップ	0.5号④ 40~50cm, ⑤ 50~70cm	④⑤ 6~7号
	冬 (12~3月)	/	/	/	/	/
「カサ」セットのチョーチン釣り	春 (4~5月)	8~10尺	0.8	ボディ10~15cm パイブトップ	④ 0.5号 8~12cm, ⑤ 0.3号 40~70cm	④ 6~7号, ⑤ 2~3号
	夏 (6~9月)	8~9尺	0.8	ボディ10~15cm パイブトップ	④ 0.5号 8~10cm, ⑤ 0.4号 20~40cm	④ 6~7号, ⑤ 3~4号
	秋 (10~11月)	8~9尺	0.8	ボディ10~15cm パイブトップ	④ 0.5号 8~12cm, ⑤ 0.3号 40~70cm	④ 6~7号, ⑤ 2~3号
	冬 (12~3月)	8~12尺	0.8	ボディ10~15cm パイブトップ	④ 0.5号 8~12cm, ⑤ 0.3号 50~70cm	④ 6~7号, ⑤ 2~3号
両タナの底釣り	春 (4~5月)	水深に合わせる	1.0	ボディ10~15cm パイブトップ	0.4号④ 30~40cm, ⑤ 40~50cm	④⑤ 4~6号
	夏 (6~9月)	/	/	/	/	/
	秋 (10~11月)	水深に合わせる	1.0	ボディ10~15cm パイブトップ	0.4号④ 30~40cm, ⑤ 40~50cm	④⑤ 4~6号
	冬 (12~3月)	水深に合わせる	1.0	ボディ10~15cm パイブトップ	0.4号④ 30~40cm, ⑤ 40~50cm	④⑤ 4~6号

7 つ ば 釣り場のルール



管理釣り場や釣り堀にはルール(規定)が設けられています。そのルールを守るのはもちろん、ほかの釣り人に迷惑になるような行為は慎みましょう。

●基本ルール=へら鮎釣りではハリが口に入っていない場合(スレ)は釣果として認められません。

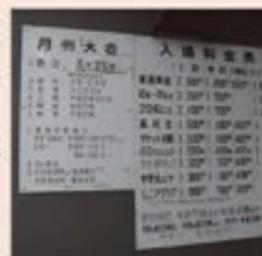
●竿規定=竿の長さには制限があります。例) 竿8~18尺まで

●タナ規定=ねらうタナの規定。自由ならどんなタナでもOKです。関東の管理釣り場では、ウキ止め~第1オモリまで1m以上という釣り場もあり、仕掛けのウキ止めゴム~板オモリの間を1m以上離さなければいけません。

●エサ規定=使えるエサの規定です。へら鮎釣りでは生きエサは禁止です。また、管理釣り場では、角麩(オカメ)禁止の釣り場もあります。

●マナー=これは一般的な常識でもありますが、ゴミは指定のゴミ箱に捨てる、桟橋は走らないなど、他人に迷惑をかけるような行為は慎んでください。

●入場の仕方=事務所での受付、料金の払い方などは動画を参照しましょう。



用語集

【あ】

●浅ダナ=水面~1mくらいまでのタナ。水面直下50cm以内をカツクと呼ぶ。

●アッパー=スレ掛かりのひとつで、下アゴの外側にハリが掛かること。

●アタリ=へら鮎がエサを食った時にウキに表われる鋭く力強い下方向への動き。

●イトスレ=水中にあるラインに魚が触れたりすることでラインが動き、それがアタリのようにウキに伝わること。イトスレアタリなどと言う。

●ウワズリ=ねらうタナ(水深)よりもへら鮎が上がってしまうこと。エサのバラけすぎなどで起こる。

●エサ落ち目盛り=エサが付いていない状態でウキが立った時に水面に出る目盛りのこと。

●押し練り=エサ持ちをよくするため、エサを押して固めること。

●落ち込み=へら鮎が立ってからエサが落下していきナジミ切るまでの間のこと。

【か】

●カケアガリ=岸側が浅く沖が深い底の傾斜のこと。

●食い上げ=へら鮎がエサを食ってウキを持ち上げることで、エサ落ち目盛りよりも下の目盛りやウキのボディが水面に出ること。

●くわせエサ=セッティングで下ハリに付けるエサ。「カ玉」や「グルテン」を使う。

【せ】

●サワリ=へら鮎がエサに寄ってきたことでウキに表われる弱い上下動。

●セッティング=上ハリにバラケエサ、下ハリにくわせエサを付けた釣り方。

●タナ=へら鮎をねらう水深のこと。浅ダナ、タナ1mなどを使う。

●チョーチン釣り=ウキの位置を竿先近くにセッティングして釣る釣り方。

【な】

●ナジミ=エサの重さによってウキがエサ落ち目盛りより沈むこと。

●野釣り=自然の湖沼や川で釣りをすること。

【は】

●バラケエサ=セッティングで上ハリに付けるエサ。へら鮎を寄せる目的を果たす。

●バラシ=ハリ掛かりした魚からハリが外れてしまうこと。

●ブレンド=特性の違う数種類のエサを配合すること。

【ひ】

●ラフ付け=エサの表面をていねいに整えないエサ付け。

【わ】

●割れ落ち=ナジミだエサが一気にハリから抜けてしまうこと。